

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	生物学的製剤の安全性情報収集、解析、評価に係る研究事業費	事業開始年度	平成15年度	作成責任者		
担当部局	国立感染症研究所	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内・国外での生物学的製剤に起因する感染症に関する科学及び疫学情報を系統的、持続的、積極的に高感度で収集し、感染研内の専門家によって、リアルタイムに感染症としての面からの情報のリスク評価を行い、これを厚生労働省担当部局と直ちに共有することにより、速やかな行政対応に繋げ対策遅れによる被害を防止し、国の責務として国民に安全な生物製剤を供給する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)生物学的製剤に起因する感染症に関するインターネット上の科学・疫学情報を学術会議、論文、感染症対策機関からの出版物や発表から系統的・持続的・高感度のシステムで収集し、(2)言語学的フィルターと情報処理アルゴリズムによる初期解析後登録。(3)事務局3名により既存の感染症サーベイランスや病原体専門部門からの情報を付加し、登録済み情報を分類、(4)感染研病原体専門家約20名がシステムへアクセスし、毎日数百件の中から二次スクリーニングを行い、(5)毎月および随時所内の評価委員会で情報の重要性和影響をリスク評価し、(6)健康危険情報を評価結果および科学的エビデンスをつけ厚生労働省担当部局に報告。					
実施状況	システムの安定運用により、情報検知能力が向上。明らかな生物製剤等に由来する感染症だけでなく、疑い情報など情報収集範囲を拡大。自動収集と基本的情報分類の機能と情報データの自動登録の実施、毎月数千件の情報を処理し毎月平均4件の重要情報を感染症情報収集検討委員会を開催し検討、厚生労働省への報告(本年度は報告該当情報無し)。また、事業開始より平成20年度末までには約120件を評価委員会に提出し、69件を厚生労働省へ報告している。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	71	68	68	66	65
	執行額	71	68	68		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	71	68	68		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	情報システムの賃借については4年リースの当初に一般競争入札により契約している。医学中央雑誌は唯一の日本語雑誌の登録検索システムであり、学術成果の早期入手には不可欠であるため、契約している。				
	見直しの余地	当事業は機器のリース料が大部分を占めるが、機器のリース料については、リース期間中の見直しの余地は乏しい。機器の切り替え時期には機器の必要性の観点から再リースも含め費用対効果を最大化するよう検討する。				
予算監視の・効率化	一部改善(事業を一部見直し、概算要求に反映) 執行の観点からは概ね妥当であるが、真に必要な研究費の精査を行い、効率的な執行に努めること。					
補記						

国立感染症研究所
68百万円
生物学的製剤の安全性情報収集、解析、評価



【一般競争】

A. (株)日立キャピタル
59.92百万円
システム借料

【随意契約】

B. (株)丸善
0.24百万円
医学中央雑誌WEB版利用
料

うち事務費8百万

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	システム借料	60			
計		60	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0